

平成24年第3回下仁田町議会定例会会議録第1号（6日）

招集年月日	平成24年9月6日					
招集の場所	下 仁 田 町 議 会 議 場					
開閉会日時 及び宣言	開 会	平成24年 9月 6日午前10時00分	議 長	千野 榮 治		
	閉 会	平成24年 9月 20日午後2時50分	議 長	千野 榮 治		
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席 12名 欠席 名 欠員 名 凡 例 ○ 出席を示す △ 欠席を示す × 不応招示す	議席番号	氏 名	出席等の別	議席番号	氏 名	出席等の別
	1	木 暮 弘 元	○	7	千 野 榮 治	○
	2	矢 嶋 榮 一	○	8	島 崎 紘 一	○
	3	原 秀 男	○	9	堀 口 博 志	○
	4	岩 崎 正 春	○	10	佐 藤 博	○
	5	高 瀬 政 信	○	11	岡 田 武 二	○
	6	佐 藤 勇 二	○	12	佐 藤 公 夫	○
会議録署名議員	10番	佐 藤 博	11	岡 田 武 二		
職務のため議場に 出席したものの氏名	事務局 長	市 川 隆		書 記	並 木 文 子	
地方自治法 第121条に より説明のた め出席した者 の氏名	町 長	金 井 康 行		ガス水道課長	金 井 義 富	
	副 町 長	—————		水 道 課 長	(ガス水道課長兼務)	
	教 育 長	高 木 成 雄		教 育 課 長	竹 内 芳 則	
	総 務 課 長	永 井 正 信		ジオパーク推進室長	神 戸 哲	
	企 画 財 政 課 長	神 戸 康 全				
	健 康 課 長	神 宮 喜 美				
	産 業 振 興 課 長	加 庭 紀 夫				
	会 計 課 長	茂 木 政 美				

議 事 日 程 別紙のとおり

会 議 に 付 し た 議 件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 一般質問

会 議 の 経 過

開 会 平成24年9月6日 午前10時00分

○議長 千野榮治 それでは、ただいまから、平成24年第3回下仁田町議会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

○議長 千野榮治 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により、10番 佐藤博君と、11番 岡田武二君を指名いたします。

○議長 千野榮治 続いて、日程第2、会期の決定を議題といたします。
本定例会の会期につきましては、さきの議会運営委員会で本議会の運営等について協議をされておりますので、その結果について報告を求めます。議会運営委員長

(岡田武二議会運営委員長 登壇)

○議会運営委員長 岡田武二 おはようございます。
議長のご指名がありましたので、議会運営委員長報告を申し上げます。
去る8月30日、午前10時から委員会室303において、議会運営委員会を開催し、本定例会の会期、日程及び議案の取り扱い等の議会運営に関する事項について、協議をいたしましたので、その経過と結果についてご報告申し上げます。

会期につきましては、本日から9月20日までの15日間とし、審議日程につきましては、お手元に配付されている日程表のとおりであります。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定の後、町長のごあいさつをいただきます。その後、一般質問を木暮弘元議員、佐藤博議員の2名の方が行

います。

また、一般質問終了後及び7日に全員協議会を開催し、今定例会に提案されております、報告第6号から、第76号議案の細部にわたる説明をいただき、さらに時間内に終了しない場合は、10日に引き続き開催させていただきます。

10日は、全員協議会を開催する場合は終了後、本会議を開催し、7日に全員協議会が終了した場合は、本会議を開催し、報告第5号から報告第8号までを一括報告の後、第54号議案から第60号議案までの提案者の説明、質疑、討論、採決を行います。

次に、第61号議案から第68号議案の補正予算については、提案者の説明、質疑の後、予算決算特別委員会に付託をいたします。

続いて、決算認定については、提案者の説明の後、監査委員から監査結果の報告をお願いします。質疑終了後、全決算議案につきましては、予算決算特別委員会に付託し、審査をお願いすることに決しました。

11日及び12日は予算決算特別委員会を開催していただき、13日及び14日は委員会予備日といたします。

また、15日から17日は、休日につき、休会とさせていただきます、18日及び19日は各委員会の予備日といたします。

20日最終日は、本会議を開き、委員長から委員会審査の報告を受けた後、第61号議案から第76号議案に対しての討論、採決を行い、全日程を終了する予定でございます。

以上、この会期、日程等にご賛同賜り、円滑な議会運営ができますよう議員各位のご協力をお願い申し上げまして、委員長報告といたします。

ありがとうございました。

○議長 千野榮治 お諮りいたします。

本定例会の会期は、議会運営委員長報告のとおり、お手元に配付の日程表により、本日から9月20日までの15日間としたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 千野榮治 異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日から9月20日までの15日間と決定いたしました。

○議長 千野榮治 続いて、町長から定例会招集のあいさつを願います。町長
(金井康行町長 登壇)

○町長 金井康行 平成24年第3回下仁田町議会定例会開会に当たりまして、ご指名をいただきましたので、一言ごあいさつ申し上げます。

ことしの夏は、まさに酷暑の連続でありましたが、ロンドンオリンピックが開催され、国民に大きな感動と勇気を与えていただきました。日本選手の活躍は目覚しく、選手の皆さんに大きな拍手を送り、心からお祝いを申し上げるものでございます。

9月に入りまして、朝夕は秋の空気が次第に感じられるようになりましたが、まだまだ日中は厳しい残暑が続いております。当町も、各地区の秋祭りなど、活気あふれる季節を迎えようとしております。

さて、本定例会には、報告案件として4件をはじめ、下仁田町等公平委員会委員の選任について及び教育委員会委員の任命についての人事案件に関する議案、下仁田町立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例ほか2件、地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書、平成24年度各会計補正予算並びに平成23年度各会計の決算認定を求める議案をそれぞれご提案申し上げ、ご議決、ご承認を賜りたいとするものでございます。

大変ボリュームがございますが、いずれの案件につきましても、後ほど担当課長から詳細を説明させていただきますので、よろしくご審議の上、ご議決、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

以上、平成24年第3回議会定例会開会に当たりましてのあいさつといたします。本日は大変ご苦労さまでございます。

○議長 千野榮治 次に、日程第3、一般質問を行います。

通告書に従いまして質問を許します。木暮弘元君
(木暮弘元議員 一般質問席へ)

○1番 木暮弘元 議長さんのお許しが出ましたので、1番議員、木暮弘元が一般質問をさせていただきます。

今、全国各地でいじめ問題が発覚、事件化しています。教育委員会の対応がいじめ等で注目視され、現在は教育委員会の信頼関係が損なわれている。私も、教育行政、教育委員会、特に教育委員の果たす役割は非常に大きいと考えております。教育委員の選任については、日本の教育の根幹であります。

そこで、本日は、教育委員の選任についてお尋ねいたします。

まず、町長さんにお尋ねいたします。

下仁田町の教育委員は5名です。ですよね。40万前橋市は何名でしょう

か。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 木暮議員さんのご質問にお答えいたします。

毎回というぐらい、また、積極的に一般質問をしていただいて、大変敬意を表するところでございます。

教育委員さんにつきましては、まず、全国統一ということで、それぞれの地域で選任をするということになって、議員についてはそれぞれ平等だというふうに認識しております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 それでは、全国各地、東京をはじめ政令都市でも置かないということではよろしかったんですね。私もそう思っておりました。

次に、教育委員の選任について伺いたいと思います。

下仁田町では委員の選考規程はあるのか、町長、お願いいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 町では、教育委員さんの選考について特に定めはございませんが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律という中で第4条に、委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関して識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命すると定められております。また、同条4項には、年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないように配慮するとともに、委員のうちに保護者である者が含まれるようにしなければならないという規定がございます。これらを考慮しながら選考をしておるところでございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ただいま町長さんの説明を伺いました。幅広い中から選ぶということでございます。下仁田町の教育委員さんも、きっと今までそういう人材を選んできたのかなと思っております。今後ともそのように選んでいただければなと思っております。

次に、従来の規程や方法で、どのような方法で選考されてきたかは、慣例等があるというようなお話を、前、聞いたことがあります。その辺について詳しく説明をさせていただければと思います。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 お答えいたします。

これまでは、各地区に小学校があったこともありまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条の定めによりまして5名とされます教育委

員は、町内の各地区数と一致しております。下仁田、馬山、小坂、西牧、青倉の各地区から1名との慣例により、町長が選考し、議会の同意を得て任命されています。おおむね1区1名の選任であります。いつからなのか、はっきりはしていません。

以上でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ただいま慣例をお聞きいたしました。それでは、慣例はわかりましたけれども、この項についての基準というのは、どう考えておるのでしょうか。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 今、基準ということをおっしゃいましたが、先ほど町長さんのほうで教育委員のことについて詳しく説明をされておりますので、そのものと同じだと思います。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 大体わかりました。それで、基準ですよ。

ただいまの教育長さんがお答えになりました、各地区、慣例により1名ずつということでございます。このたび、各地区1名ということを選任ということをおっしゃいましたが、なぜか旧下仁田地区のみが異例な取り扱いをされているんじゃないかなと思います。

8日8日、町長から提案がありまして、町外者を推薦するというところからでございますので、私は、旧下仁田地区には何年も教育委員が不在だということで、それはいかなものということをお話しいたしまして、9日の総務常任委員会協議会にもそういう提案をなされましたけれども、やはり旧下仁田地区にも非常に人材がございますので、その辺、慣例に従ってという意味におきましてはいかがかなと思うところがございますので、町長さん、ご回答をお願いいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 下仁田町の選任の件につきましては、今、議員ご指摘のように、人事案件で、本議会でご提案を申し上げるところでございますので、よろしくご審議を図りたいと思っております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 それでは、今回のそういうような選考、今、提案事項と言われましたけれども、今回の選考についてはだれに相談され、提案された理由はどのようなことでしょうか。町長、お願いいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 今回の選任につきましては、先ほど申し上げました5名を選任する中から、地方公共団体の長が任命するとされておりますので、それに従いまして選任をしたわけでございますが、やはり教育に精通した者という観点から、教育委員経験者、また教育長等々と相談しながら選任をさせていただいた次第でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 過日の総務常任委員会協議会では、高木教育長さんに相談されたということでございました。私はそのときに、高木教育長さんには、相談する部分については不適格かなという意見を申し上げました。

そこで、町長さん自身、先ほども言いましたけれども、自分自身の基準はどうかということをお聞きしたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 これは、先ほど申し上げましたように、被選挙権を有する者の中からということの、この中から、人格が高潔で、教育、学術、文化に関して識見を有するという項目の中から、それらにふさわしい方をお選びするというので、基準として定められているように選任をしているという気持ちでございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 前の委員会の答弁とちょっと食い違っている感があったかなと思っております。

次に質問いたします。

行政に携わる人事選考について、なぜ町外者を選任するかと、過去にさかのぼれば、副町長の選任について、町外者を理由に反対があったと聞き及んでおります。ただし、たまたま町外者であっても、その方が適任であれば、私は、むげに反対する理由にはならないと思っております。

しかし、教育委員の選考に関しては、それと違うのではないかと。前回は今回も、旧下仁田地区から選考されず、旧下仁田地区以外の地区に我が地元から委員が選考されている。旧下仁田地区に町外者を今回も充てている。なぜなのか。

この選考についての起用は、町民の理解、特に旧下仁田地区の住民からは理解しがたい。この地区には適任者がいないから町外から充てるのか、その理由を説明願いたいと思います。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 これは、本定例会にご提案を申し上げております人事案件でございますので、そちらのほうで議員全員と協議をしていただくようお願いしたいと思っております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 一応、私、この議案書と提案をお聞きしましたので、こういう質問をさせていただきました。

教育長さん、すべからく学校長が適任者では、私はないと思っております。そのほかの事例でも、他市町村では一般社会人より公募する例もありまして、8月9日の総務常任委員会からまだ時間がありましたので、旧下仁田からの人選をもう少し考えていただければなと思っておりました。町長にお願いします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 その内容につきましては、先ほど申し上げましたように、本定例会で十分時間をいただいて、ご協議をいただくということでさせていただきますので、よろしくをお願いします。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 今のお答えはわかりましたけれども、一応提案をされております。それで、旧下仁田地区にも、すぐれた人材が数多くいます。5地区平等でない感じがします。このままでいくと、旧下仁田地区から今後も教育委員は選出されないのではないかと私は懸念されております。

今回、2名が一緒に改選を迎える、そのうち1名は町外からの委員を選考するとあれば、旧下仁田地区ではなく馬山地区からという選考も考えられると思うが、いかがでしょうか。町長、お願いします。

○議長 千野榮治 木暮弘元君、これで3回目、同じ質問になっちゃうので、かえてください。

○1番 木暮弘元 はい。それでは、質問をかえます。

それでは、同時期に迎えた旧下仁田地区と馬山地区の議員の協議をする方法もあったと思うが、それをしなかったのは、最初から下仁田地区に町外者を充てるという町長の意図だったのでしょうか、じゃ、お聞きいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 先ほどから申し上げておりますように、5名の地区割りと、そして任期について、今回が2名ということでございます。その辺の説明につきましては、先ほど申し上げましたように、次の人事案件の提案理由の説明がありましてから皆さんでご協議をいただくというのが議会のルールになっ

ておりますので、その内容について後ほどお答えさせていただきたいと思
います。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 下仁田町は、小・中学校統廃合により1校となりました。教育
委員5名を地区別の選考で考えるのを廃止して、もっと大局的に考えるべき
だと私は思います。

小・中各1校になった今、教育委員の選考・選出過程から議論が必要で、
教育委員の選任に対しては、根本から改革を検討する時期ではないかと思っ
ております。町長のご意見を伺いたいと思います。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 まさに小学校が統合されまして、それぞれの地区からの選任と
いうことのまた再確認ということで、その選考方法ということがございます
が、一番肝心な内容に、その教育に携わる、そして精通している人というこ
との案件を重要視すれば、改めて、それぞれの地域にこだわるということは、
木暮議員がおっしゃるように、検討も値するかと思いますが、それも、先ほ
ど申し上げましたように、議員それぞれのご発言をいただく中でお考えいた
だければよろしいかというふうに思っております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ただいま町長が前向きな発言をされましたけれども、今までき
ちんとした慣例というものがありませんでしたので、その点をしっかりと考慮して
いただきたいと思います。思っております。

旧下仁田地区の委員の空白期間は、どのくらいあったでしょうか。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 最近の状況では、前教育長でありました里見哲夫氏が平成
16年までの16年間、その前が、菌實中氏の平成9年までの20年間とい
うのが、一応、下仁田地区の行政区に入っている方々の実績でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 そうすると、完全なる空白というのはどのくらいだったんでし
ょうかね。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 現在の教育長の在任期間、8年間だと思います。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 そうすると、このたび足すと12年という、同意が可決されれ
ばそういうふうになるということで、非常に慣例にしても不平等性が高いと

いうことをございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 回答はいいです。次にいきたいと思います。

次に、教育行政について。

過日の議会で、質問に対しての協議は、教育委員会においてなされましたか。その後、毎月の委員会会議録を求め、その内容をいただいたが、議題にすら上っていない。教育委員長の冒頭のあいさつにも、事務局報告にも記載されていないのが実態であります。

教育委員会は、前回の質問に対して、善処します、検討しますと答えているが、一向にその気配が読み取れない。町民の代弁者である一議員の質問は全く聞き入れられないのか。無視されているようで、質問に対する回答を求めても、出ないはずであります。協議をされているのかいないのか、会議録に全然報告もされていない。ただいまこの議場で、改善できた項目、今後目標を定めて改善できる項目を回答していただきたい。

教育委員会は、地域住民の意向を反映する教育委員会ではないのか。回答を求めます。教育長、よろしくをお願いします。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 お答えいたします。

学校教育、社会教育等に関しまして、重要事項や基本的な方針等に係る内容につきましては、当然、教育委員会での審議が必要でありまして、会議録に記載されております。

しかしながら、日々の教育行政執行につきましては、教育委員会での重要事項や基本方針等に係る決定に基づきまして、教育長が責任者となり、具体的事務を執行することになっております。教育委員会事務局、学校等で処理可能な事案につきましては、常勤職員による執行処理を行っております。

ご質問されました経過、結果等の具体的な対処につきましては、教育課長のほうから答えさせますので、よろしくお願いいたします。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 それでは、具体的な事案としまして、最初に、柔道の授業の安全性の確保というふうな内容につきましてお答えさせていただきます。

中学校の本年度指導計画が決定しております。それによりますと、本年度は中学1年生に対して、年明け1月から2月に10時間の柔道に関する授業を実施する予定であります。柔道着に関しましては、現在、学校保管が30着ございますが、そのうち着用は、柔道着を着用しての授業は半分程度であ

るということ。さらに、体操着を着た上にその柔道着を着て授業を行う予定であるというふうなことでございますので、使用後は天日乾燥を行いまして、年度のその授業が終了後にクリーニングして、衛生状態を確保するというふうなことの予定であります。

また、柔道場の安全対策につきましては、十分な配慮を行い、必要に応じまして、防護マットの活用、また、学校で健康診断を毎年実施しておりますが、それらの診断結果を授業のほうに反映させまして、個々に事故だとかの発生のないように指導に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ただいま内容をお聞きいたしました。非常に、柔道着、着回し、アレルギー等の対策、まだまだ足りないなと思っております。まして、柔道着はきちんと自分が管理し、自分のものであれば、ものを、柔道着も大切にするという気持ちがいっしょに植えつくんじゃないかなど。やはり柔道は礼に始まり礼に終わるということでございますので、しっかりとその辺も、教育委員会、学校の現場とやっていただければと思います。

以上でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 そのほかに、ただいまお聞きいたしましたけれども、まず第1に、教育長さんは、大切な会議、根本的なものということで、私がやりました一般質問ということは、公式ではないのでしょうか。教育長さん、伺います。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 そのほかには、3月、6月の一般質問でそのご指摘をされた事項がございまして、それらに対する事務方の対処について、説明させていただきます。

統合後の通学路安全マップについてでございますけれども、7月23日に下仁田小学校の全地区の懇談会が開催されまして、7月30日までに、保護者から危険と思われる箇所の洗い出しを行っております。現在、調査内容を整理・精査中でございますので、安全マップは現在作成中であります。

それから、スクールバスのダイヤを早めるべきであるというふうなご指摘がございましたけれども、スクールバスにつきましては、現在、児童の習熟状況も進みまして、おおむね予定どおりの時間で運行されており、特別な問題もないと認識しております。

統合に際しまして、特に西牧地区では、それまでより20分程度、時間を余計に要することとなります。そういったこともございますので、必要以上に早くしないでほしいといった要望も勘案した結果のダイヤ設定でありました。

また、小学校統合に際しましても、統合前より5分から10分、授業の開始時刻を遅く設定してあります。それらを勘案しまして、なおかつバスのダイヤの改正が必要であれば、検討させていただきます。

それから、通学路の安全点検の再点検というご指摘をいただきまして、それらに関しましては、通学路の再点検、横断歩道の設置、消えかけている横断歩道の整備につきまして、7月31日に、警察、土木事務所、学校関係者、産業振興課、教育課によりまして意見交換、現地調査を行いまして、横断歩道新設の可能性等の協議を行いました。消えかけている横断歩道につきましては、関係機関にお願いをしたところでございます。

それから、小学校統合後の環境変化に対するアンケート調査のご指摘もございました。下仁田小学校では、統合の初年度でもありまして、特に注意深く対応を行っております。友達関係アンケートをすべての児童に毎月実施し、けんか、日常のトラブル等について、原因、理由を含めまして、早期の把握、初期段階での解決を目指して努力しております。さらに、教育活動評価アンケートを保護者の皆様に行い、児童には子供アンケートを実施しまして、早期のそういった問題の発見に努めております。

以上が、ご指摘をいただいた内容に対する対応でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 いろいろなご説明をいただきましたけれども、私がいただいた議事録には、こういう文言が一つも載っておりませんでした。議員が一般質問をする部分について、本来ならば全部議事録に載せて、きちんとわかるようになっていなければならないのでしょうか。議員が、一般質問は、私が発言をすれば、一言一句、議会議事録にきちんと載りまして、インターネットにまで見られる、一言一句見られる状態になっております。

不思議なことに、議員がこの議場で発言をし、公式発言をしたのに、ただいま、議事録にもないことを事務局が発言するということは、非常に不可解だなと私は思っております。それだけ議員の一般質問が軽いものかなと私は今思いましたので、その辺を一言伺いたいと思います。

○議長 千野榮治 木暮弘元君、ちょっと待って。今の質問の中で、議会議事録という、今、質問なんだけれども、議会議事録というのはどういう意味なんだ

か、ちょっとその辺がわからないんだけども。

議会議事録というのは、一般質問の中のこの議事録のことなんだと思うんだけども、これはきれいに落としてあるんだけども、どういうことなのかね。その辺だけちょっともう一回説明をしてもらわないと進行させられないんだけども。

○1番 木暮弘元 要するに、私の質問は、ホームページで見ればきちんと出ています。ですが、ただいまお聞きした部分については、会議録に、いただいたんだけども、載っていないということ、これはおかしいんじゃないかということでございます。

○議長 千野榮治 ちょっと議長が口を挟んで申しわけないんですけども……
(「暫時休憩してしゃべってくれないか」の声あり)

○議長 千野榮治 はい、わかりました。

じゃ、暫時休憩をして、ちょっとその辺を。

休 憩 午前10時44分

再 開 午前10時45分

○議長 千野榮治 じゃ、休憩を解いて再開いたします。

○1番 木暮弘元 議会で私が発言した部分については、しっかりと、ホームページを見れば、きちんとその文言、一言一句が掲載されております。しかし、ただいまの事務局が発言した部分については、どこにも、私がいただいた部分については掲載されておりました。そういう部分について、議員が質問をしておりますので、きちんと、協議をした結果、会議録に掲載してもらいたい。そうすれば、今の部分が質問しなくてもはっきりわかるんじゃないかなと私は思って、今、発言をさせていただきました。

○議長 千野榮治 ちょっとすみません。暫時休憩。

休 憩 午前10時46分

再 開 午前10時47分

○議長 千野榮治 休憩を解いて再開いたします。

○1番 木暮弘元 私が言っているのは、議会の議事録は、ホームページで見ればわかります。一言一句間違いなく。だけれども、教育委員会の会議録をいただきましたら、今言った部分をきちんと掲載できていないと。その点をはっきり、今後は、協議したら記載していただければなど。全くその教育委員会の会議録に載っていない部分を今、発言をいただきましたので、しっかりと今後はわかるように会議をして、掲載していただければなどということを私は発言しているわけです。

- 議長 千野榮治 ちよつと暫時休憩します。
休 憩 午前10時48分
再 開 午前10時49分
- 議長 千野榮治 それでは、休憩を解いて再開いたします。木暮弘元君、どうぞ。
- 1番 木暮弘元 それでは、ただいま議長の説明をいただきました。教育委員会は、少し下って、きょうの答弁、願わくは、きちんと協議した結果、議員が一般質問をきちんとしておりますので、その辺を今度は会議録にきちんと掲載するようによろしく願いいたしたいと思います。
- 議長 千野榮治 教育長
- 教育長 高木成雄 ただいま言われた件について、私が先ほど一番初めに答えたとおりでございまして、そのとおりに実践をしていきたいと思っています。
- 議長 千野榮治 木暮弘元君
- 1番 木暮弘元 ぜひよろしく願いいたしたいと思います。
それでは、次にいきたいと思っています。
大津市の不幸な事件以来、全国各地で多くのいじめ問題が発覚している。8月29日には、いじめの自殺対策強化となる新大綱が政府から作成され、示されました。
下仁田町の小・中学校に今までいじめが問題視されたことがあったか。私は、実際にいじめがあったと聞いていますが、いかがでしょうか。
- 議長 千野榮治 教育課長
- 教育課長 竹内芳則 いじめの現状と対策ということに関しましてお答えさせていただきます。
最初に、いじめの定義でございますけれども、文部科学省の平成18年度に改正されましたいじめの定義に基づきまして、説明させていただきます。
文部科学省のそのいじめの定義でございますが、個々の行為がいじめに当たるか否かの判断は、表面的、形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って、児童・生徒の気持ちを重視し行うものとする。いじめとは、児童・生徒が一定の人間関係のある者、学校の内外を問わず、例えば、同じ学校、学級、部活動の者、当該児童・生徒がかかわっている仲間やグループなどの、生徒・児童と何らかの人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃、仲間外れであったり、集団による無視であったり、直接的なもの、心理的な圧迫などで相手に苦痛を与えるものなどを含み、身体的な攻撃のほか、金品をたかられたり隠されたりすることなどにより受けました精神的な苦痛を感じているものとし、けんかを除くというふうな定義に基づきま

して説明させていただきます。

下仁田町におけるいじめの状況でございますけれども、文部科学省への報告の平成23年度児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査における状況及び、群馬県教育委員会に毎月報告します児童・生徒の問題行動等に関する月例報告書における数値により、御報告させていただきます。

平成23年度中の下仁田町小学校4校及び中学校では、いじめと認知する事案はございませんでした。しかし、本年6月に中学校において、新たにいじめに該当する事案が1件発生してしまいました。現在は平静を取り戻しているとのことです。

その対応につきましては、からかい、悪口、仲間はずれといった内容でございます。それらに対する対応状況でございますけれども、学級担任や養護教諭による状況の十分な聞き取り、事実の究明、全教職員による継続的な指導、細かな観察、保護者への報告等を行い、現在は平静に至っております。なお、細かな観察指導は継続して行っております。

また、23年度中は、いじめの事案は、先ほど報告のとおり、ございませんでしたが、ふだんからいじめ問題について教職員での共通理解を図り、道徳、学級活動の時間に指導を行う。生徒会活動を通じた問題の提起、生徒同士の人間関係、仲間づくりの促進、スクールカウンセラー、養護教諭等を積極的に活用した相談等による取り組みを行い、さらに、月1回程度の全校生徒対象のアンケートも実施して実態の把握に努めております。

今後も、いじめが判明した場合、校長、教頭への報告、必要に応じまして、教育委員会への報告及び、担任、学年職員、生徒指導主事、教育相談担当等が対応方針を決定し、情報の共有化と一丸になった対応を行うように努めていきたいと思っております。

それから、下仁田小学校においては、現在、そのいじめの認知事案はございません。統合初年度でもありまして、先ほども申し上げましたが、特に注意深い対応を行っております。

学校基本目標であります「友達と仲よく本気で学び、たくましい下仁田の子を育成する」にもございますが、人間関係づくりには特に力を注ぎ、担任を初め、校内全教職員連携による生徒指導、日常の行動を注意深く観察、また、友達関係アンケートをすべての児童に毎月実施し、けんか、日常のトラブル等におきまして、原因、理由を含め、早期の把握、初期段階での解決を目指して努力しております。

さらに、教育活動評価アンケートを保護者に行いまして、児童には子供ア

ンケートを実施し、あわせて早期の発見に努めている次第でございます。
以上でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 非常にトータル的に全部お答えをいただきました。

そこで、学校でいじめを早期発見することについて、教育委員会の指導方針、大体お聞きいたしましたけれども、現場で大変努力していることもわかりました。

そこで、定期的なアンケート調査をやっているかどうか、その時期とか回数、公開方法、また、委員会では、それをもとに、検討、指導をどういうふうに現状はやっていますか。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 先ほどの中学校のいじめの認知した1件に関しましては、現在は学校で対応しております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 おおむねわかってまいりまして、最後に、いじめが発覚した場合は、隠蔽せず、対処の方法、外部委員会の設置等を考えられますか。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 お答えいたします。

ただいま課長のほうから説明もありましたが、できる限りの対応を行っている所存ですけれども、不幸にしていじめ事案が発生した場合、事例ごとに設置の検討を行いたい、こんなふうに考えています。

以上です。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ぜひ、いじめ問題を、広く門戸を広げ、いじめる側にも安心して相談できるような教育委員会と現場等をよろしくお願い申し上げたいと思います。

次にいきます。

8月30日の新聞に、不登校児、4年ぶりに増と掲載されておりました。不登校児童は、各人が違うケースがありますが、下仁田町は現在、不登校の児童・生徒の実態はあるでしょうか。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 それでは、不登校の下仁田町における現状についてご報告させていただきます。

先ほどのそのいじめのところでの調査及び月例報告には、不登校に関する

内容もございまして、最初に、それらに基づきますこの不登校の定義でございしますが、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因、背景により、児童・生徒が登校しない、あるいはしたくてもできない状況で、病気、経済的理由によるものを除くという前提で話をさせていただきたいと思いません。

平成23年度では、下仁田町において年間30日以上欠席した生徒は、中学校におきまして4件の事案がございました。不安などの情緒的混乱によるものでございます。小学校におきましては、年間30日以上欠席児童はおりませんでした。また、本年4月から7月までの状況では、小学校、中学校とも、登校しなければならない日数71日の中で、30日以上欠席者はございません。

これまでの対応としましては、家庭訪問、電話による連絡、カウンセリング等、学級担任、養護教諭、スクールカウンセラー等による指導、相談による対応を行っております。学習意欲をはぐくみ、進んで登校したくなるような学校づくり、心の教育の充実、教職員の指導体制の充実、学校、家庭、地域社会の連携、教育相談体制の充実、柔軟な対応等が考えられますが、担任であったり、養護教諭による悩みの相談、指導、校内教職員による事案情報の共有等を図る対応を行っております。今後とも注意深く指導を継続していく必要があると考えております。

以上でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ただいま方向性を聞かせていただきました。非常にケースがいろいろ多様化されておりますので、ぜひ、教育委員会と現場、密にわたって協議しながら、少しでも改善をするように努力していただければなと思っております。

次に、スクールカウンセラー、ケースワーカーの存在、その他にかかわっている機関の存在が周知されているか、お伺いたします。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 スクールカウンセラーに関しまして、状況を報告させていただきます。

スクールカウンセラーにつきましては、現在、下仁田小学校、下仁田中学校兼任で1名の方が配置されております。中学校には毎週木曜日、小学校には隔週で火曜日、ともに6時間来校しております。

スクールカウンセラーのその業務につきましては、児童・生徒に対する相

談のほか、保護者、教職員に対する相談、教職員に対する研修、事件・事故等の緊急対応における被害児童・生徒の心のケア等、多岐にわたっておりますが、学校の教育相談体制の大きな役割を果たしていると考えられております。

仕事の内容につきまして具体的に申しますと、児童・生徒に対する相談、助言、保護者や教職員に対する相談、校内会議等への参加、教職員や児童への研修、講話、相談者への心理的な見立てや対応、ストレスチェックなどの予防的な対応、事件・事故等の緊急対応における被害児童の心のケア等の問題に関しまして、学校ではカバーしがたい多くの役割を担っております。教育相談を円滑に進めるための潤滑油ないし仲立ち的な役割を果たしていると考えています。

保護者等へのその周知でございますが、学校を通じまして、再度周知を図っていきたいと考えております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ぜひ保護者、またいろんな方々にこのスクールカウンセラー、またケースワーカーの存在をよく周知しまして、一人でも多くの不登校児童を少なくするようお願いしたいと思っております。

次に、教育委員会としての対応策を講じているかどうかをお聞きいたします。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 先ほど課長のほうから細かく説明をしていただきましたけれども、そのほかにやっている教育の内容としましては、町の教育研究所という組織がありまして、そこに教育相談部会というのをつくり、保護者、また学校を含め、相談の窓口になって対応もしております。

そのほかにつきましては、先ほどスクールカウンセラーの件が出ましたけれども、以前は中学校のみでしたけれども、今年度より、小学校にもスクールカウンセラーを入れてほしいということで、実現をいたしました。

以上です。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○1番 木暮弘元 ぜひいろいろなところに気配りをしていただきまして、相談しやすい状況をつくっていただければなと思います。要するに、心が相手に通じれば、よりいいことだと思しますので、しっかりとその辺は仕事をやっていただければなと思います。教育委員会、しっかりしていただきまして、現場を一生懸命応援できるよう、よろしく願いいたします。とにかく児童本

意の改善を求めます。

それでは、本日のまとめといたしまして、再確認をいたします。

小・中各1校になった今、教育委員の選考・選出過程から議論が必要で、教育委員の選任に対しては、根本から改革を検討する時期ではないかが1つ。

教育委員会は、前回の質問に対して、善処します、検討すると答えたが、一向にその気配がない。そのことから、全内容を教育委員会全員で十分に討議していただき、協議内容をきちんと議事録に残すべきではないかが1つ。

教育委員会制度の意義にあるとおり、教育委員会は、地域住民の意向を反映し、相互信頼できる教育委員会であってほしいと要求いたします。

一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長 千野榮治 それでは、ここでちょっと暫時休憩をして、11時20分から再開させていただきます。お願いいたします。

休 憩 午前11時07分

再 開 午前11時20分

○議長 千野榮治 それでは、休憩を解いて再開いたします。

引き続き一般質問を行います。佐藤博君

(佐藤博議員 一般質問席へ移動)

○10番 佐藤博 10番議員、佐藤博。議長のお許しをいただきましたので、ただいまから一般質問をさせていただきます。

ちょっと議場が涼しいんですけれども、せっかくTシャツを着てきましたので、脱がせていただいて質問させていただきます。

(「ポロシャツ」の声あり)

○10番 佐藤博 ポロシャツね。Tシャツとポロシャツ、どこが違うのかと思いました。

冗談はさておき、高木教育長さんはこの9月で、金井町長さんは12月4日で任期が満了と、最後の議会、思い出に残る質問をしたいとするところでございます。

まず、町史の編さんについて、現況についてを伺います。

1点目、町史編さんの最終と申しますか、最新の発行時期はいつであるか、お伺いをいたします。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 現在存在しております下仁田町史につきましては、北沢高三郎元教育長が中心になりまして、昭和46年11月3日に発行されたと。東西中学校が統合され、校舎が完成したことを記念して刊行されたものであ

ります。既に41年が経過しております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 平成20年の当初予算で、ふるさとセンター費の中で町史編さんの予算を計上したとちょっと記憶をしていますが、その後の経過についてお伺いをいたしたいと思います。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 新町史編さんに向けまして、ご指摘のように、平成20年度に当初予算としまして181万円を計上された経緯がございます。その後、平成21年度におきましても383万7,000円を計上しておりましたが、その後、補正でゼロとしておりまして、その後、町史編さんに関する予算は計上されておられません。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 当時の町史編さんを取りやめた、中止にした理由は何であるか。これは、8年間在任中だった教育長さんにお伺いをしたいと。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 お答えさせていただきます。

編さん委員会の体制を6つの部会に分けました。原始・古代、それから中世、それと近世、それから近代・現代、それと民俗、そして最後が自然の6部会の体制で、委員の選定を目指しておりました。

最も大きな理由としましては、少なくとも5年間程度を要し、専門的な知識経験を必要とする刊行委員、編さん委員の適任者の選任問題があったと考えています。検討した中には、ご高齢でもあり、刊行できるまでの間、担当できる自信がないとの理由の方もおられたと聞いております。

その後、町史編さん担当であります文化財保護係では、荒船風穴世界遺産登録に関する国指定史跡指定事務、世界遺産登録関連の本格化等の事務が重なりまして、重点をそちらに移さざるを得なかったこと。

さらには、下仁田中学校の体育館、馬山多目的運動場、統合小学校の建設等、教育関係に多額の予算を必要とする時期であった等のことによりまして、現在に至っております。

現時点では、町史編さん計画は休止している状況ですが、史料収集の一環としまして、平成21年11月に、広報、町民に、貴重な写真、資料等の提供呼びかけを行いまして、現在も資料収集を継続している段階です。

以上でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 町史の編さん、これは必要があるかどうか。もともと、必要性があるから、20年度に予算計上、これは岡田町政時代。21年度には増額をして383万7,000円、これは金井町政に入ってからということであります。

教育長さん、町長さんにお伺いしたいんですが、町史の編さんの必要性はあるのかどうか。まず、教育長さんから。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 ただいま町史編さんのことについては話をさせていただきましたが、現在の町史につきましては、刊行されてから既に41年間の経過をしまして、内容を一新し、後世に伝える必要性はあるというふうに認識しております。

以上でございます。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 お答えを申し上げます。

ただいま課長あるいは教育長からお話があったとおりで、同感に感じております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 先ほど、教育長答弁、聞いておりますと。当事者であるであろう教育長さんが、当時のことを聞いておりますという、こういう発言でございましたね。また、現在は休止しているということの答弁でございました。休止しているのであれば、いつ再開するのか、教育長さんにお尋ねをいたします。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 先ほどのお答えにもありましたけれども、世界遺産推進というのが26年度を目指しております。また、ジオパークの関係について今動いていますので、何年からというふうには申し上げられませんが、できるだけ早くに進めたい、このようには考えております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 町史の編さんに必要な人員、また年月、あるいはその必要についてはどの程度が想定されるかどうか、わかりましたら。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 平成20年当時に大まかなその見積もりがされている状況によりまして、少なくとも5年程度は必要とするであろうと。さらに、その専門に担当する職員が必要であると。経費のほうは、6,000万円程度はか

なるのではなかといった見積もりが当時されていました。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 特別チームの編成の必要性ですね、また調査員の確保、予算要求等は、教育長の職務として対応すべきだったと私は思います。さきに専門員の高齢化というお話がございましたけれども、先にいけばいくほど、さらに高齢化、対応がしづらくなるのではないかと私は思います。

この点を考えますと、この計画をしたものが、2年にわたって、予算化したものができなかつたと、これは教育長の職務として対応すべきことだったのではないかとと思いますが、いかがですか。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 ただいま申し上げましたけれども、早くにしたいのですけれども、世界遺産の関係がもうとにかく目の前に迫っていますので、そちらのほうにどうしても集中せざるを得なかったのが現状でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 言われる意味はわかるんです。今やっていることも大事なことです。しかし、町史編さんも必要として大事なことです、予算もつけたことです。これができなかつたという現状において、これを実施するのが、教育長さんの職務、お仕事の一環、一つであろうと私は思うのですが、再度、すみません、もう一度お願いいたします。

○議長 千野榮治 教育長

○教育長 高木成雄 お答えさせていただきます。

もちろん、文化財保護の関係も教育委員会の所管でありますので、やっていくことが大事であると、こんなふう考えております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 質問と答弁がなかなか、質問に対する答弁、一致しないという状況でございます。職務であったとするならば、これは職務怠慢と言わざるを得ないと私は思います。こうした言葉は、残念ながら教育長に2度目でございます。

荒船の湯についてお伺いをいたします。

現在の経営状況と入り込み客、収入支出、赤字額について、わかりやすくひとつご回答いただきたいと思っております。

○議長 千野榮治 産業振興課長

○産業振興課長 加庭紀夫 議員の質問にお答えいたします。

荒船の湯は、ご承知のとおり、平成9年8月3日に開業いたしました。平

成10年度から5年ごとの推移を申し上げます。

平成10年度の実績は、入館者数約9万5,000人、歳入が約1億1,557万円、歳出が約1億1,327万円で、差し引きが約227万円でありました。

平成15年度の実績が、入館者数約8万人で、歳入は約7,773万円で、歳出は約8,700万円で、差し引きがマイナスで約926万円でありました。

平成20年度実績は、入館者数が約6万7,000人で、歳入が約6,153万円、歳出が約7,538万円で、差し引きがマイナスの約1,384万円でした。

平成23年度の実績につきましては、決算の中でご説明しますが、入館者数が約5万4,000人、前年度対比、マイナスで約5,400人でした。入館料や飲食、売店の売り上げなどからなる歳入は約4,755万円、歳出につきましては約6,821万円で、差し引きでマイナスの約2,000万円でした。

以上でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 平成9年に始まって、10年度が黒字、その後は赤字と。さらには、これに職員の人件費を加えると大変な状況だと思います。株式会社産業開発しもにた、道の駅であります、ここは黒字を計上しておりますね。

町長、お伺いいたしますが、金井町政の4年の間に荒船の湯を民営化、あるいは第三セクターに移行することを検討されたことがおありであるかどうか。

○議長 千野榮治 産業振興課長

○産業振興課長 加庭紀夫 議員の質問にお答えいたします。

平成22年度から5年間の第4次下仁田町行財政改革大綱を作成しました。その中で、公的施設に関する民間委託及び指定管理者制度の導入について大綱に盛り込みましたが、具体的な結論には至っておりません。

以上です。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 具体的な結論には至っていない。行政改革を検討されたこの中に、荒船の湯のみならず、ほかのことも含まれているのかと思いますが、22年から23、24年、経過をしながら、具体的な結論が出ていない状況が継続されていると。この間には、富岡市のかぶらの里も、休止だか休館だ

かわかりませんが、閉館をしている状況も近くにございますが、下仁田町は、ずるずると継続をされている状況の中のございます。

担当の課長さんから今お答えをいただいたんですが、金井町長さん、なぜこの具体的な結論が出せないでいるのか、検討結果をもう一度町長さんにお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 千野榮治 ちよつと暫時休憩します。

休 憩 午前11時35分

再 開 午前11時36分

○議長 千野榮治 じゃ、休憩を解いて再開します。

○10番 佐藤博 大変失礼いたしました。かぶらの里でなくて、かのさとは休止をしている状態。休止か閉館かわかりませんが、そういったところも近くにございます。

下仁田での検討の結論がなぜ出せなかったのかをひとつお伺いいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 大変、荒船の湯の運営につきましては、町民の憩いの場所として、また、この発足当時は、体験交流センターという形で、当時としては大分ニーズの高い温泉施設として開設されたところでございました。それから年数を追うごとに、それぞれの各自治体、あるいは地域でたくさんの温泉ができたということで、この荒船の湯につきましても、一部、大変愛用されている方がおりますが、町外の方の利用が多く、なかなか、運営方法をいろいろと考えていく中で、経営の厳しさに突き当たっていた次第でございます。

民間委託、指定管理者制度と一口には言いましても、なかなか、このマイナス要因がこれだけありますと、おいそれとお引き受けくださる方が難しい状況でございます。

そこで、経費の削減や入り込み客の対策を強化しようということで、現在は、バイオマスによる給湯装置の燃料費の削減研究や、温泉の有効成分の抽出等による入館者の増大が図れそうな提案も研究機関からいただいておりますので、検討をしておるところでございます。よろしく申し上げます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 23年度の赤字が2,000万、24年度に改善されていますことに期待をいたします。

次に、運営の方法についてお伺いをいたしますが、広報の9月号に、臨時職員の募集若干名と掲載されました。若干名とは複数を意味すると思いますが、何人募集するのかわかりませんが、そんなに必要なのかどうかと、

このことについてお伺いたします。

○議長 千野榮治 産業振興課長

○産業振興課長 加庭紀夫 議員の質問にお答えいたします。

1人欠員が出ましたので、早急に募集掲載をいたしました。欠員分の1名を予定しております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 8月26日、日曜日に私も訪問をしてまいりました。大広場のテーブルはいっぱいにふさがっておりましたが、ほとんどは他県ナンバー、数台が高崎ナンバーと、こんな状況でした。

以前に脱衣所に防犯カメラを設置した時期があったと記憶をしておりましたので、確認も含めてさせていただきました。これは問題があって、コインロッカーを外に出して、カメラも外に設置してあったと、こういうことでございます。ロッカーの前に、防犯カメラ設置というステッカーが張られ、2台のカメラが設置されておりました。1カ所に2台も設置しなくても、1台は玄関に設置したほうが、万が一の際になるのではないかと思います。いかがお考えでしょうか。

○議長 千野榮治 産業振興課長

○産業振興課長 加庭紀夫 議員の質問にお答えさせていただきます。

現在、議員おっしゃるとおり、カメラを設置してありますけれども、現在、売店と玄関に向けて1台、貴重品ロッカーに、保管ロッカーの前に2台設置しております。盗難等の被害防止に効果を上げていると考えております。

また、夜間につきましては、あるいは休館日にはセコムの防犯カメラが部屋ごとに作動している状況でございます。

以上でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 夜間、休館日に警備会社も入っているという答弁であります。警備会社では、万が一の事件の解決にはなりません。町の経営なんですから、不特定多数のお客さんが利用する施設でありますから、昼間の時間帯にも対応できるように、きちんと玄関にも設置していただきたい。いかがでしょうか。

○議長 千野榮治 産業振興課長

○産業振興課長 加庭紀夫 今、議員の質問でございますけれども、カメラの増設ということで答弁をさせていただきたいと思っております。

先ほど申し上げました赤字状況の理由と、カメラの設置状況等を考えると、

ちょっと難しいのかなと考えられますけれども、議員の質問の趣旨を考慮いたしまして、管理者と協議をしてみたいと思います。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 課長さんが管理者と協議するという回答をいただきまして、管理者も同席、いらっしゃいますので、管理者である町長さんにお伺いをいたします。

月々のリース料は管理費を含めて6,000円ぐらいだと、こういうふうには私も調べてはあります。買い取りで30万円程度と聞いております。ぜひ玄関には設置していただきたい。管理者である町長さん、いかがでしょうか。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 今現在、町に訪れる、登山を含む、荒船の湯の利用客もたくさんございますが、そういった管理については、いろいろ、今の社会情勢の中で、非常に必要性を感じております。

そういった中で、ただいま、今の施設の中での検討は、この入館の原因を追究するとともに、今後の対策を踏まえ、検討を一緒にしていく必要があろうかと感じております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 ぜひ玄関にきちっとしたものを設置していただきたいことをお願いいたします。

臨時職員であっても、町の職員には変わりはないと。過日の議会全員協議会でもいろいろ質問が出まして、議員皆さん、一様に心配をしている状況にございます。

職員の教育はどのようなシステムで行っているのか、まずお伺いをいたします。

○議長 千野榮治 産業振興課長

○産業振興課長 加庭紀夫 議員の質問にお答えいたします。

職員間でのトラブルや苦情等を耳にいたします。その都度、出向いたときに口頭で注意をしたり、文書でもって、寄せられたトラブルやお客様からの苦情等を当事者がわかるように箇条書きにして、配付をして、改善を促しております。改善が見られないようなら、契約の更新を考えさせてもらうといった通達を出して、注意を喚起し、職場環境の改善に努めております。

また、職員は、人員を抑え、多シフト体制で勤務していますので、全員がそろうことがないので、先日の休館日に全員を集めて、いろいろなところから聞こえてくる苦情や職員間のトラブル等について、訓示をさせていただき

ました。職員からいろいろな意見が聞かれ、全員が気持ちを入れかえて職場改善に取り組んでいくということの意見統一ができました。

以上です。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 サービス業でございます。接客態度、マナーの指導等はどなたが行うのか、また、研修や視察等は行っておるのかどうか。

○議長 千野榮治 産業振興課長

○産業振興課長 加庭紀夫 議員の質問に答えさせていただきます。

先ほど申したとおり、職場改善に全員で取り組んでいるところでございますけれども、後日、再度、全員による全体研修をすることになっております。議員のおっしゃる、職員の接遇に対する専門家等による研修会につきましては、少し様子を見て、自主的な改善に期待をしてみたいと考えております。

以上でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 サービス業でございますので、プロの指導も取り入れてサービスの向上に努めていただきたいと。日帰り温泉施設はどこにもございます。数が多い。ぜひベスト10に入れるぐらいベストを尽くしていただきたいとお願いをいたします。

さて、過日8月21日の新聞報道について、町長のコメントが掲載されました。大変に遺憾、厳正に対処したいと話していると掲載がされました。

まず1点、何が大変遺憾なのか。

第2点、厳正に対処したい。何をどう対処されるのか、お伺いをいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 当荒船の湯の臨時職員につきましては、日ごろからまじめに作業に取り組んでいるというお話は何っておりましたが、突然の新聞報道でございまして、どういった内容であるのかわからないで、話を聞きましたけれども、今の世相の中で必要不可欠なITの機種を使った、いわゆる容疑でということでしたので、非常に残念に思った次第でございます。

また、その報道をされる前にそんな申し出がありましたので、即時、退職という手続をさせていただいて、その処分をしたところでございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 職員さんがどう対応したかということを質問したのではなくて、新聞に記載された文言、何が大変に遺憾なのか、厳正に何をどう対処された

のか、記載した内容についてお伺いをしているんですが、いかがでしょう、もう一度質問させてもらってよろしいですか。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 新聞報道に発言があったという内容に触れては、先ほど言ったとおりでございます。また、対処は、先ほど言ったとおりでございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 3回目、同じ質問はしません。

過去において、職員の事件・事故等については、管理者はみずから責めを負ったという事例は幾つもございます。今回の件について、管理者としての管理者責任はお感じになっていらっしゃるか否か。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 臨時職員とはいえ、このような事案が発生したということは、まことに残念であり、厳粛に受けとめております。本人からの話も聞き、今後、他の職員にも、いろいろ不祥事がないように注意を促して、よりよい運営と、町民に信頼されるお湯として職員指導をしていきたいと思っております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 もう一度お伺いします。

管理者責任をお感じですか、否か。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 当然のごとく、職員の中からこういった事案が発生したので、新聞報道同様、責任を感じております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 さきにも申しました、過去の職員の事件・事故、交通事故も含めて、管理者みずから責めを負った事例が幾つもございました。今回も、そういったことを踏まえ、言葉のみならず形にさせていただきたいことをお願いいたします。この件、過去の事例をひもといていただいて対応させていただきたいことをお願いいたします。

次に、マニフェストの進捗状況は、後にさせていただきたい。

○議長 千野榮治 本人の申し入れでございますので、ここで暫時休憩をさせていただきますと思います。

再開は1時より行いますので、よろしく願いいたします。

休 憩 午前11時55分

再 開 午後 1時00分

○議長 千野榮治 それでは、休憩を解いて再開いたします。

引き続き一般質問を行います。佐藤博君

○10番 佐藤博 続いて、3点目、金井町長の4年ほど前に掲げたマニフェストの進捗状況についてということで質問をさせていただきます。

まず1点目が、厚生病院の再生ということでございます。

地域医療を守るだけでなく、山村医療の先進地を目指すということでございました。まず1点、成果のほどをお伺いいたしたいと思っております。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 マニフェストの進捗状況でございますが、その前に、先ほどの最後のご意見でございました、いろいろ責任のとり方について、いろいろな事案によりまして、最終的な判断で、責任ということで執行していくということでございます。

その先ほどのお話の臨時職員のことでございますが、その退職後の報告といたしまして、本人の父親からご連絡がございまして、処罰にはならなかったという報告を承った次第でございます。

報告をさせていただきます、今の質問に移ります。

それと、処罰には当たらなかったという内容の話でございますが、本人が職場の機械でもっていろいろと疑いのされることをしたということではなく、自分の家のパソコンでのご報告を受けております。

ただいまの病院の再生の進捗状況でございますが、病院議会の議員である佐藤議員についてはよくご承知おきをいただいております。また発言をさせていただく次第でございます。

病院につきましては、昭和46年に建設いたしました病棟を初めとして、老朽化、病院の再生について、現在建設を進めておる次第でございます。平成25年度完成を予定しております。また、地域医療につきましては、群馬大学と提携しつつ、現状維持に努めており、引き続き努力をしてまいりたいと考えております。

下仁田厚生病院につきましては、富岡管内のポジションで重要な役割として認められて、群馬で2カ所という、そんな補助事業で始まった次第でございます。山村医療先進地ということにつきましては、平成20年の12月の議会でもお答えさせていただきましたように、先生を初め、看護師さん、職員が、患者さんの気持ちにこたえられるよう、やっていただいております。今後も引き続き、信頼される心の先進地を目指して取り組んでまいりたいと考えております。

市町村が、現在1,700強まで減少しているというのが現実でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 私が今質問したのは、対話による合併協議を進めますというマニフェストでございましたので、この4年の間にどのような対話を、どのような協議をされてきたのかということの質問でございます。今の答弁ではちょっと理解できないところがございましたので、再度お伺いをいたしますが、正式な場での協議をされたのかどうか、されていないのかをひとつお答えいただきたい。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 近隣市町村と合併協議会という形での推進は、されるに至りませんでした。そういうことでございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 正式な協議する場を設置するかどうかの協議をしたかどうかということをお伺いしたかったんですが、以上といたします。

3点目に、強力な行財政改革ということで、大胆な行政改革の実施を行うと。現行というのは、当時、前政権でしょうか、現行では11億、予算総額の5%と、私は10%以上を目指しますと、こう掲載がされました。10%以上の達成ができたかどうか、お伺いをいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 マニフェストにあります強力な行財政改革につきましては、おかげさまをもちまして、実績、効果等、お伝えできるということで、光栄でございます。

行財政改革につきましては、約束のとおり推進をいたしまして、平成21年から24年までの効果は、14億9,000万円の財政効果を見た次第でございます。10%に近い数字があらわれたということで、平成17年から20年間の7億7,800万円から見ますと約倍の効果が見えたということで、この報告とさせていただきます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 数字で、実績が14億9,000万、現行予算が55億、これが10%以上になるんでしょうかね。ちょっと試算が、今、現状、できませんけれども、10%以上にはならないのではないかな、残念ながらというふうに思います。前年の実績を継続という形の中に、多少の上乗せはあったにせよ、数字の上では10%以上と。10%以上というと約20億円ぐらいにならなくちゃならないんじゃないかなというふうに思いますけれども、それ

には達成ができなかったのではないかというふうに思います。

さらには、馬山の運動場の一時凍結が、凍結どころか継続して完成になりました。町長の公用車は廃止ということで掲げましたが、廃止でなくて廃車、廃車によって新車を購入したというふうに移るわけでございます。

4点目、教育環境の充実ということで、下仁田高校へ特殊専門学科を導入と、全国から生徒や先生が集まる高校を目指しますと。いかにも町立の高校みたいな表現をされましたですね。この件は以前に2度質問をしてございます。特殊専門学科について、この3月にもいたしました。任期が終了する直前でございます。発表願える状況になりましたかどうか、できる状況なら発表願いたいと思います。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 教育環境の充実ということではございますが、項目は、私どものマニフェストは7項目、それを重点としてまいりました。その中での細部の公約のいかんには、なかなか、数が多いございまして、取り入れる要素のある、できるものとできないものは当然ございます。

その中で、下仁田高校につきましては、今の現状は、議員ご指摘のように、高校の存続について、県の考え方とともに地域の考えをお聞きいただいて、これからの課題となっておるところでございます。

そうした意味を込めますと、特殊専門学科への導入の糸口は、今は進んでおらない状況でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 さきの新聞には、選抜の高校野球、第65回の秋季には、下仁田と長野原が合同チームでないと参加できないという、こういう状況にも既になってきていると。急いで対応をしていただきたかったなというふうに思いながらいるところでございます。できるものとできないものがある。当然のことながら、できなかったということを残念に思いながら次に進みます。

農林業、商工業の振興と定住化対策ということで、財源確保と林業振興策として、財源確保とCO₂排出権取引導入を検討と、しもにた宿プランの実現と観光開発による、町じゅうにぎわいを取り戻しますと、こう掲げられました。

まず1点、財源の確保はどういう形で対応したのか、できたのか、この辺をお伺いいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 農林業、商工業の振興、定住対策という形で5項目にうたわせ

ていただきました。先ほどと同じくして、5項目の中にはたくさんの課題が詰まっております。

その中で、林業振興、あるいは商工業の振興につきましては、議会の同意をいただきまして、いろいろ施策に当たってきたところでございます。もちろん、議員ご承知のように、それぞれの委員会において、それぞれの意見がある中で進めてきたところでございますが、まずは当町の特徴的な山村を抱える町として、やはりほうっておくわけにはいかない治山の整備でございます。そういったことを中心として、作業道や林業経営の円滑化、山林の保全を、地域の住民の理解を求めながら進めてきたということでございます。

財源の確保といたしましては、下仁田町では優秀な森林組合を保有しております。大きな財源をいただく中で進めていただいておりますが、CO₂の排出権につきましては、今現在、ご承知のとおり、群馬県でも、環境に根ざした森林環境税の導入に今お話が進められておるようでございます。そういった経緯を今後見詰めていく中で、当町のたくさんある森林保有を町として生かしていけるように努めて、努力をしていきたいと考えております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 財源確保は、森林組合の活動を森林組合のほうの対応と検討で行ったということですね。CO₂については、県のほうで環境税の導入を検討しているということ。期待したのは、CO₂の排出権導入を町で導入するのかなど、この検討したのがあるのかどうかと、これが質問です。取引導入を町でするのかなと思いましたが、そういうことではなかった。この辺の検討をされた経緯があったらひとつ、また結果をご回答願いたいと思います。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 時代時代に合わせまして、やはり協議に入れるものと、また、以前は、木質バイオマスの検討等もする中で、いろいろCO₂の排出権の取引等々、話題に出ていたわけでございますが、それらの問題の提起について、今後も引き続き、今進めていこうとしているところでございます。そういったことで、その項目にあるしもにた宿や町なかになににぎわいを取り戻すという事業にも、重ねて地域の力を借りる中で振興を図っていきたくと、こういうふうなマニフェストにしていたわけでございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 今、今後ともということでお話があったようですが、今後のことはお伺いをしてございません。この4年の間で、どのような形で実績として示せたかということの確認のご質問をしているところでございます。

次に、しもにた宿プランの実現について、どのような形で実現がされたか、この辺の回答を願いたいと存じます。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 先ほど申しましたように、5項目の中の林業、商工業の定住対策の中の一環として、しもにた宿、あるいは観光開発等の内容に触れて、そんな希望を持っております。

21年3月の議会でもそれらについてのご質問をいただいたわけですが、その後のしもにた宿の進展は、以前申し上げたとおりのままの状態、下仁田を中心としたご来場いただける方に、またいろいろな方法を考えていく必要があるというふうな形で考えております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 観光開発の成果は、町のにぎわいを取り戻せたのかどうか、この点についても伺いをいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 観光開発につきましては、幅広い状況下の中で、まずは商工観光課を中心として取り組んできた経緯がございます。ただいまは産業振興課でございますが、町の商工会の皆さんのお力添えをいただいて、地域に潤いをもたらす、そんなことで活性化を図ったところでございます。

詳しくは、プレミアム商品券の発行の事業を新しくやりました。また、まちなか案内マップの作成、また、ほたる山イルミネーション事業等々も、補助金を費やしまして、町民サービスと町内商工業の活性化に努めて、町内の受け入れを幅広くするための努力をしてまいりました。商業協同組合のポイントカードの新規購入等、補助金を交付したり、魅力あるまちづくり、商店街のまちづくりの集客力を高めるために、にやくっちやねぎ坊の活用を機会あるごとに県内でPRしたり、最近ではかつ井のスタンプラリー等、町内外に大きく宣伝することができまして、多くの誘客を図り、好評な現在でございます。これらの事業を、町の商工会を中心とした皆様にご尽力をいただいてのたまものだと思っておる現在でございます。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 町長なりにいろいろな事業に取り組んだということの発表をしていただいたようではございますけれども、町としてというか、町長としてのこの事業だったというような内容には感じないところでございます。町内は衰退の一途という感じを受けている方が多い。もっともっとやっていただきたかったなというふうに思いながらもいるところであります。

次に進みます。6点目、学校の跡地整備、活用は、体験学習や自然学習による新たな地域振興を推進すると、こう掲げてございました。学校の跡地整備、活用はどのように進んだのかをお伺いいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 進みぐあいのお話でございますが、本年4月にそれぞれの学校が統合されまして、4月に一つになったわけでございます。旧馬山小学校については、本年度中、校舎及びプールの解体について、補正予算により準備中でございます。跡地利用につきましては、本年7月に旧馬山小跡地活用検討会が立ち上がっていただきまして、地元区長、組長、農業委員、教育委員さん、町議の経験者等の方によって、有効活用をするべく検討を始めていただいております。

旧小坂小学校につきましては、2階、3階については、教育資料館的な利活用方法を目指して、現在、各旧小学校の教育資料等を整理、搬入しておるところでございます。

旧西牧小学校については、防災協定を締結しております練馬区に活用打診を行っている最中でございます。

さらには、各旧小学校校庭・体育館は、社会体育施設として地域の皆様にご活用をいただくよう、本会議に条例改正案を提案の予定になっております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 体験学習や自然学習による新たな地域振興がどのように推進されてきたか、この点もお伺いしたいと思います。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 もう一度お願いします。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 体験学習や自然学習による新たな地域振興はどのように推進されたのかということです。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 新たな地域振興という形での体験学習、自然学習という形の、学校跡地とは、整備を一緒には、振興策は、先ほど申し上げましたとおり、学校の跡地活用が決まっていないので、そういった思いで、自然学習等、これから取り組んでいけるものと思っております。

○議長 千野榮治 佐藤博君

○10番 佐藤博 学校の統合を決めたのは20年6月議会、この際、24年4月1日ということで決定をした。金井町政となってから、やがて4年が経過す

る中で、跡地対策協議会の設置は、いまだ設置をしない状況にある。こんな中にも、馬山の小学校は取り壊し、そして跡地の活用が検討されていると、され始めたという状況のように今お伺いをいたしました。小坂の小学校も跡地活用をしたいということで、区長さん方に投げかけはしてございますが、まだその対応がされていない。物置き場でなくして、何とか活用する方法を見出したいとするところでございます。でき得れば、4年前にそうした協議会を町の方針として設置していただけたらなど、今、そんな感じをしながらお聞きをいたしましたところでございます。

ちょっと時間が残っておりますけれども、以上をもって一般質問を終了させていただきます。ありがとうございます。

○議長 千野榮治 以上で一般質問を終結いたします。

○議長 千野榮治 本日の日程は全部終了いたしました。
本日はこれにて散会いたします。
大変ご苦労さまでございました。

散 会 平成24年9月6日 午後 1時31分